

門 13  
3387  
巻 12万

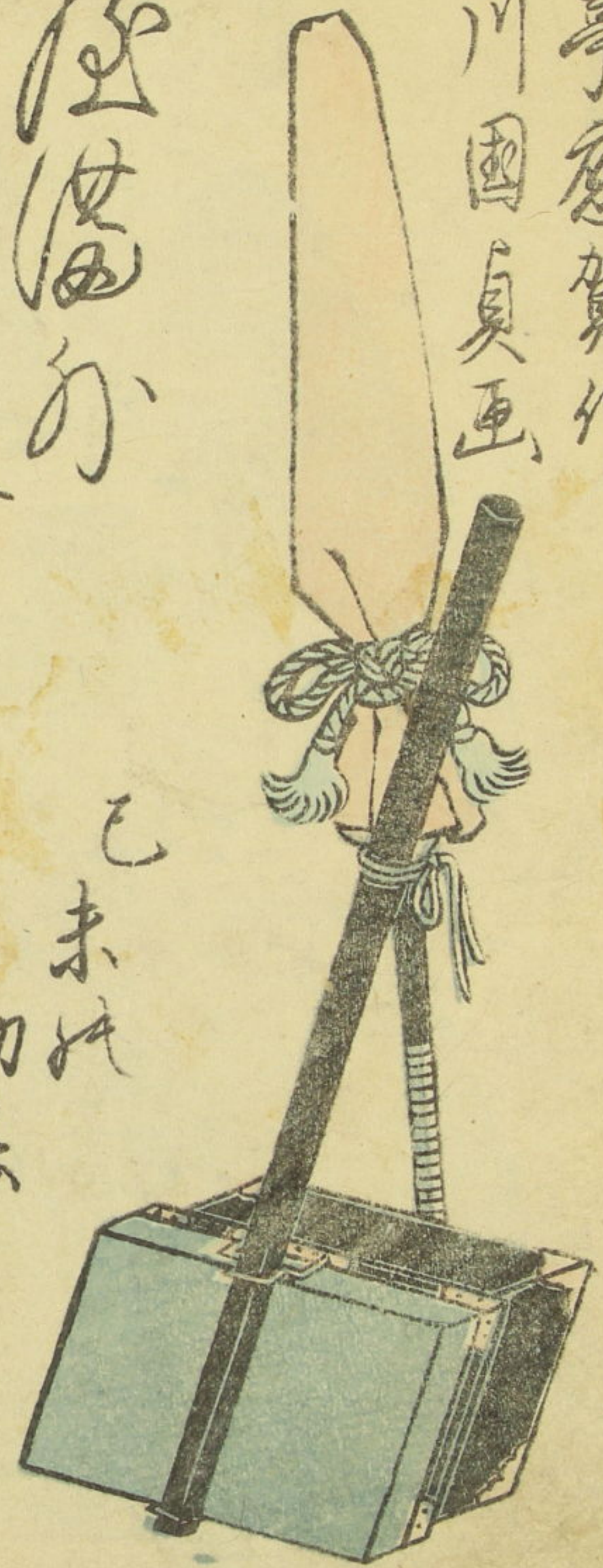
亭應賀作  
川國貞画

屋世外

文庫

四箱二編

己未  
初去



昭和十八年  
六月廿日  
小田島重次  
長男夏太郎  
大書院

釋迦相傳文庫四拾二編序

嘉慶

夫天竺之西至の日滿中初無景天の五の土徳の中色即是黃之  
後をのりて前引揚前をのりて後小繰下る少支利根の得手  
勝色の負乏人の質種次舊家の雜作小思を揚下あま  
骨を折るを陳謝と誌するを二十枚の紙の採らむ註譯の  
あま終るを唯何事の大槩に沙推察あまこと云

安政六巳未歳  
孟春新梓發行

万亭應賀述





如阿達王  
頻波  
長者の  
法施の  
珍寶

幾許を奪採る

靈芝鳥の林鹿

腹臣  
半波

作  
四  
二

座禪石

靈鷲山より四十二里流沙川の  
上あり其般の高き二十町  
流沙川の水上下覆時て  
甚奇石ありとのみ

釋迦牟尼世尊



の教目

- 一ト云 二ト云 三ト云
- 四ト云 五ト云 六ト云
- 七ト云 八ト云 九ト云
- 十ト云 百ト云 万ト云

印度の名産

珊瑚珠 奇楠 沈香 狼牙羅

鯉魚 椰子

鯉魚 外敷あり  
椰子 実あり

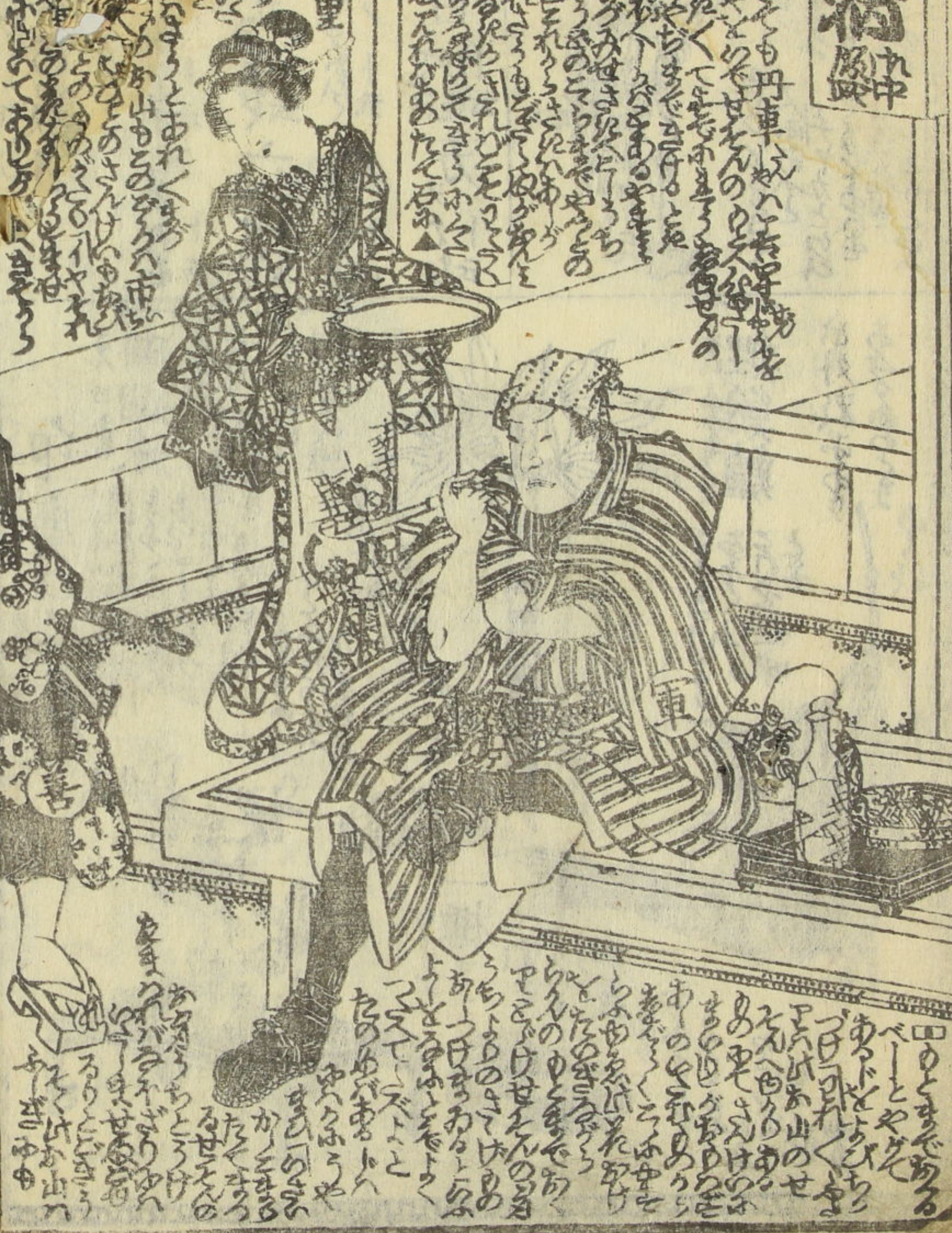


夜の  
八月九日  
二日月  
ひびく  
あひく

丹宿

トウミヤノ丹宿  
丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ

丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ



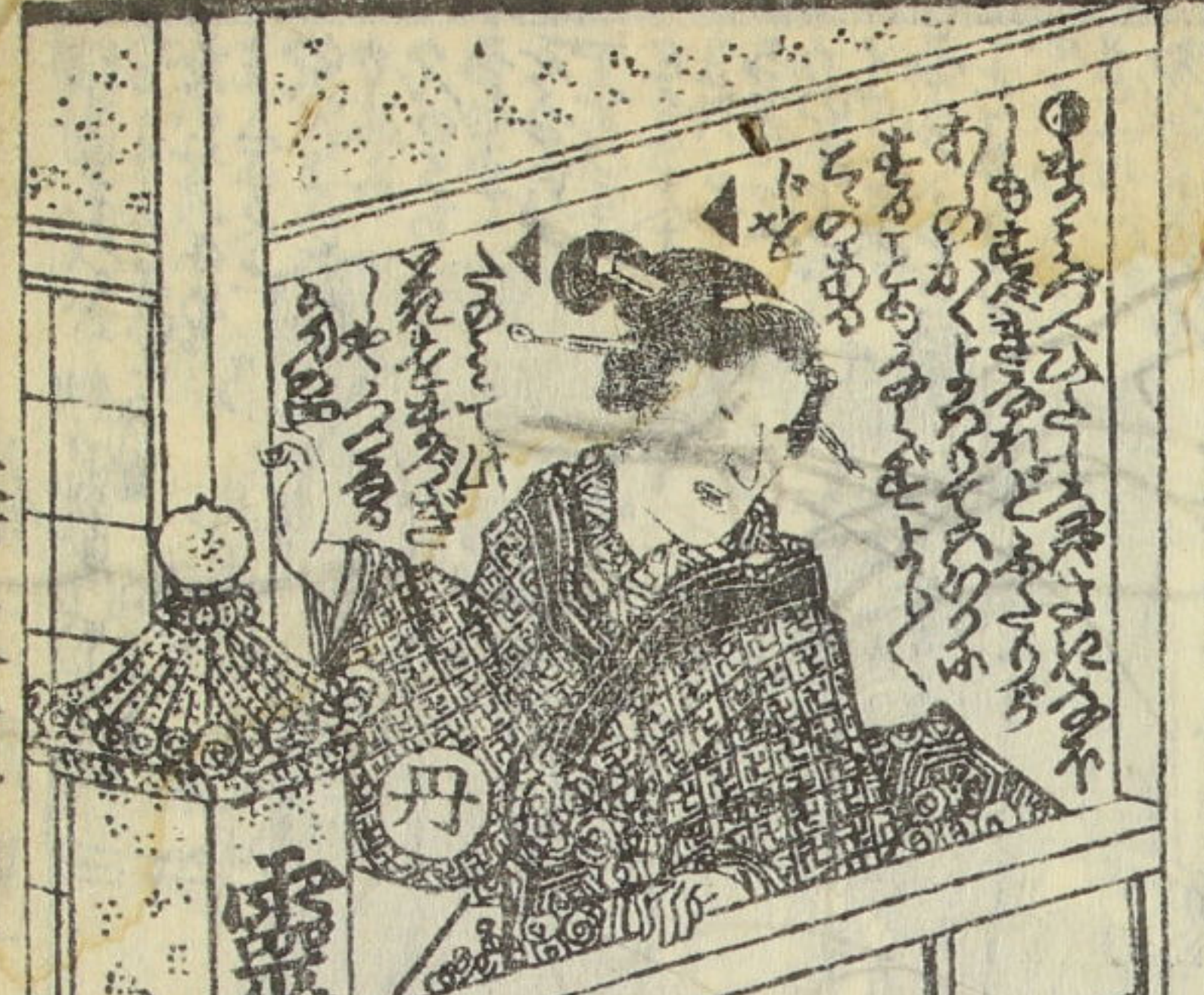
丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ

丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ

丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ



丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ



丹宿の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ  
丹波の山は丹波の山と云ふ

靈就鳥山著閑山屈 登り一里  
大伊加伊都 江 四十二里









倭效庫四世



あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの



あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

あまのこころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの  
こころを  
うらやまの

永代  
庫四世





天竺山 四十一



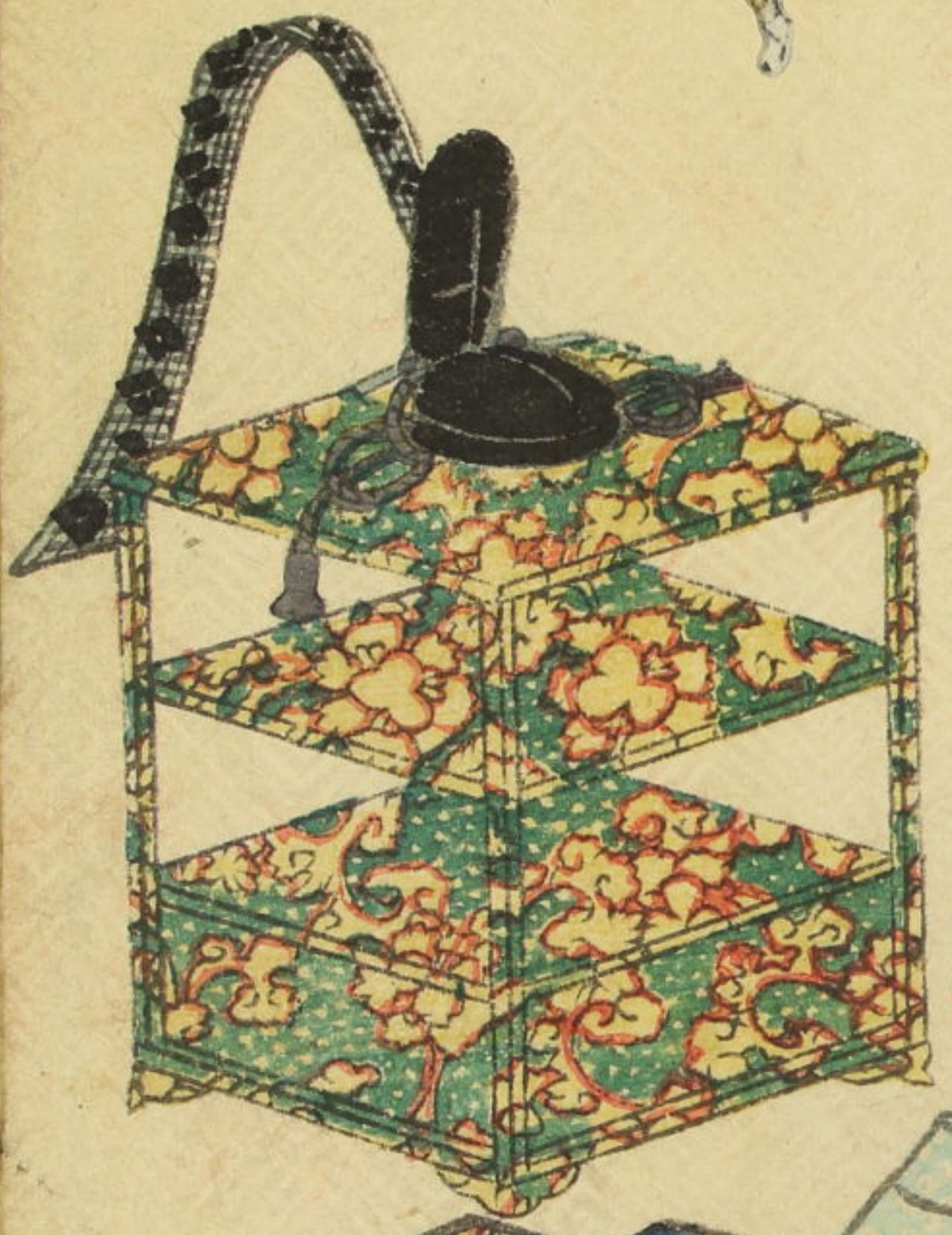
天竺山 四十二

九



應賀作國貞画

歌川國貞画



錦里堂版

下

十士

三

上段の文字は、物語の序文や説話の本文に属する。縦書きで、右から左へ読む。内容は、登場人物の紹介や背景の説明を含んでいる。



下段の文字は、物語の本文に属する。縦書きで、右から左へ読む。この部分には、登場人物の行動や心理描写が記述されている。



中道 御座り 御座り

御座り

御座り

御座り

御座り

御座り

御座り



天長... 平賀...  
 山崎... 宇治...  
 東山... 西山...  
 北山... 南山...  
 東山... 西山...  
 北山... 南山...  
 東山... 西山...  
 北山... 南山...

天長... 平賀...  
 山崎... 宇治...  
 東山... 西山...  
 北山... 南山...  
 東山... 西山...  
 北山... 南山...  
 東山... 西山...  
 北山... 南山...





おのれは... 佛の成道... 四十二...  
おのれは... 佛の成道... 四十二...  
おのれは... 佛の成道... 四十二...



おのれは... 佛の成道... 四十二...  
おのれは... 佛の成道... 四十二...

おのれは... 佛の成道... 四十二...  
おのれは... 佛の成道... 四十二...  
おのれは... 佛の成道... 四十二...



おのれは... 佛の成道... 四十二...  
おのれは... 佛の成道... 四十二...



Handwritten text in vertical columns, likely commentary or a narrative related to the illustration above.

Additional handwritten text at the bottom of the right page, possibly describing the scene or characters.



Handwritten text in vertical columns, likely commentary or a narrative related to the illustration above.

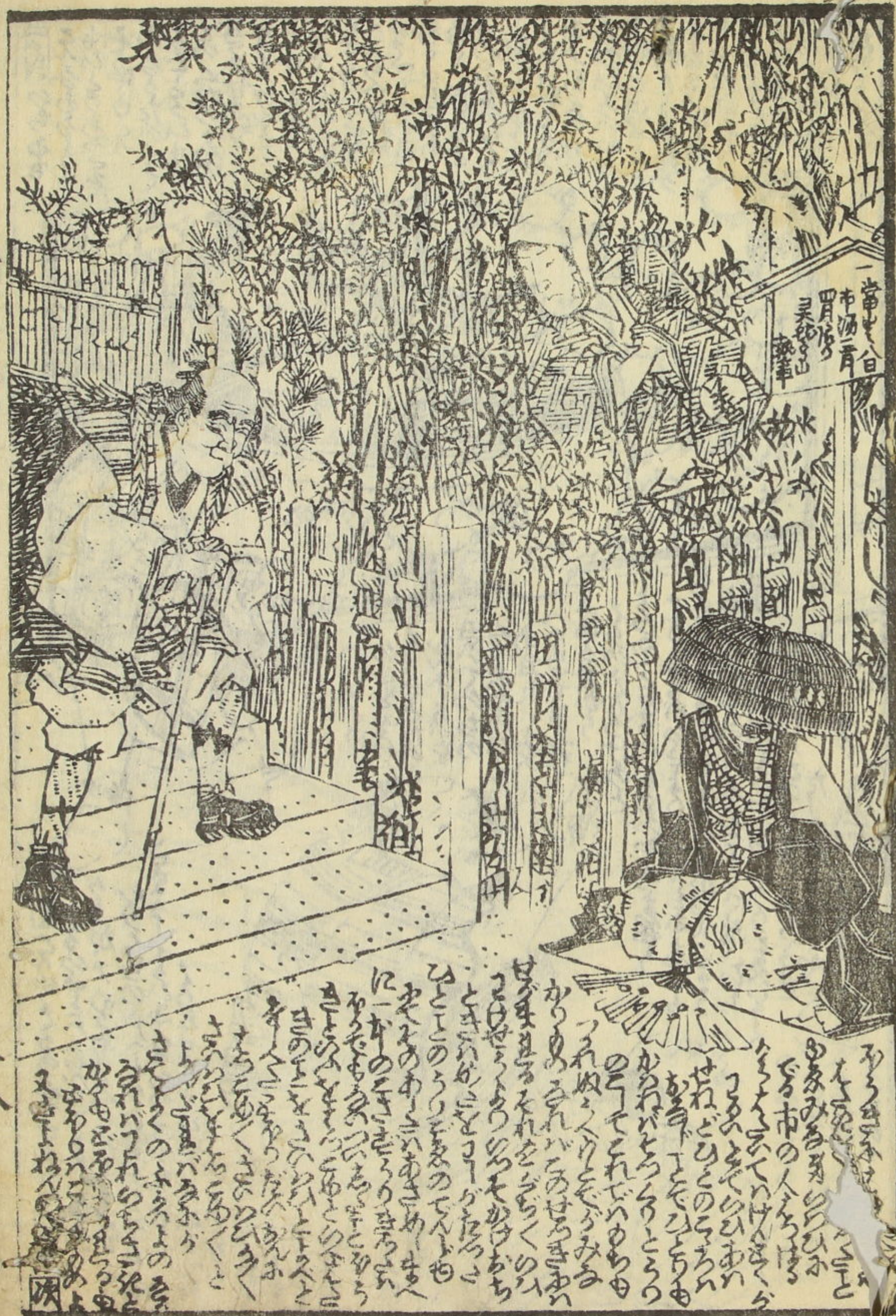
Additional handwritten text at the bottom of the left page, possibly describing the scene or characters.





竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある  
 竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある  
 竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある

あつせんといふものがある  
 竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある  
 竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある



あつせんといふものがある  
 竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある  
 竹文庫のこの巻のついでに  
 あつせんといふものがある



水戸文庫四二



水戸文庫四二



竹二屋の主人は、この世に生れながら、  
 何事もなく、この世に死なぬ。其の  
 一生、この世に生れながら、何事  
 もなく、この世に死なぬ。其の一生、  
 この世に生れながら、何事もなく、  
 この世に死なぬ。其の一生、この世  
 に生れながら、何事もなく、この世  
 に死なぬ。其の一生、この世に生れ  
 ながら、何事もなく、この世に死なぬ。

竹二屋の主人は、この世に生れながら、  
 何事もなく、この世に死なぬ。其の  
 一生、この世に生れながら、何事  
 もなく、この世に死なぬ。其の一生、  
 この世に生れながら、何事もなく、  
 この世に死なぬ。其の一生、この世  
 に生れながら、何事もなく、この世  
 に死なぬ。其の一生、この世に生れ  
 ながら、何事もなく、この世に死なぬ。



竹二屋の主人は、この世に生れながら、  
 何事もなく、この世に死なぬ。其の  
 一生、この世に生れながら、何事  
 もなく、この世に死なぬ。其の一生、  
 この世に生れながら、何事もなく、  
 この世に死なぬ。其の一生、この世  
 に生れながら、何事もなく、この世  
 に死なぬ。其の一生、この世に生れ  
 ながら、何事もなく、この世に死なぬ。

竹二屋の主人は、この世に生れながら、  
 何事もなく、この世に死なぬ。其の  
 一生、この世に生れながら、何事  
 もなく、この世に死なぬ。其の一生、  
 この世に生れながら、何事もなく、  
 この世に死なぬ。其の一生、この世  
 に生れながら、何事もなく、この世  
 に死なぬ。其の一生、この世に生れ  
 ながら、何事もなく、この世に死なぬ。

文久四年甲子新春版目録

倭文庫

五十一編 五十二編 五十三編 五十四編 一陽齋 豐國画

為永春水作 重井菱染別小紋八尾編

柳亭種彦作 新編朝日譚 一惠齋 芳樂画 二編 三編

柳亭種彦作 花山吹百人女郎 二編

同 沙子みゆの 五編 大尾

常磐津懷中本

初編 二編 三編 小本ふくぎ付

重繪草紙本類問屋

人形町 上州屋重藏板

方亭應賀作 壽齋國貞



（Caption or commentary for the illustration, written in vertical columns.)

（Caption or commentary for the illustration, written in vertical columns.)



四行公